

学園だより

令和2年3月5日 発行

中央区立宇佐美学園

静岡県伊東市宇佐美5 4 5 番地



河津桜

開 花

園 長 小久保 秀雄

1年間に1度、見事な花を咲かせる河津桜。この桜を見ていると、この木が過ごした1年間は、「開花」のためにあったんだなあと思えてきます。そして、伊東市で河津桜が楽しめる頃になると、「ああ、宇佐美っ子の1年間もまとめの時期なんだなあ。」と感じます。あと1週間で、宇佐美っ子たちも学園での学習・生活を終え、修了の日を迎えます。宇佐美学園での生活は、乾布摩擦やペースランニング、食事やおやつなどのコントロール、テレビやゲームに頼らない習慣、少人数での学び、異学年との深い結びつき、そして宇佐美の自然を生かした数々の学びや行事など、東京では決して経験できないことがたくさんありました。こうした経験を通しながら、

- ・一人一人が、明確なチャレンジシップをもち、それに向かってしっかりと努力したこと
- ・励まし合ったり、笑い合ったりしながらも、切磋琢磨した仲間ができたこと



学校「展覧会で校長先生をご案内」

これは、宇佐美っ子の大きな、大きな宝物です。親元を離れて、さみしい思いでいっぱいの中、時には壁にぶつかりながら、時には仲間や教職員に支えられながら、少しずつ、少しずつ自分の力と心を伸ばしてきました。ここで身に付けたことは、すべて「やればできる。そして周りには自分を応援してくれる人がいる。」という自信です。この自信は、宇佐美を巣立っていっても、揺らぐことはありません。

修了式を目前にして、子どもたちには、この1年間の自分の頑張りはどんなことにつながっていたのか、そして、これからどんなことにつながっていくのかを考えさせながら、まとめの日を迎えさせたいと思います。

保護者、地域、教育関係者の皆様には、1年間、宇佐美学園の教育活動に多大なご支援をいただき、誠にありがとうございました。



寮「葛城山ハイキング」

この度は、コロナウイルス感染症について、いろいろと情報が錯綜し、保護者の方々には、大変ご心配をおかけしたことと思います。宇佐美学園では、手洗い・うがいはもちろんのこと、規則正しい生活習慣の中で、抵抗力・免疫力を高めて生活を送っています。帰京してからも、この生活リズムを維持して、感染症予防に取り組んでいただければと思います。